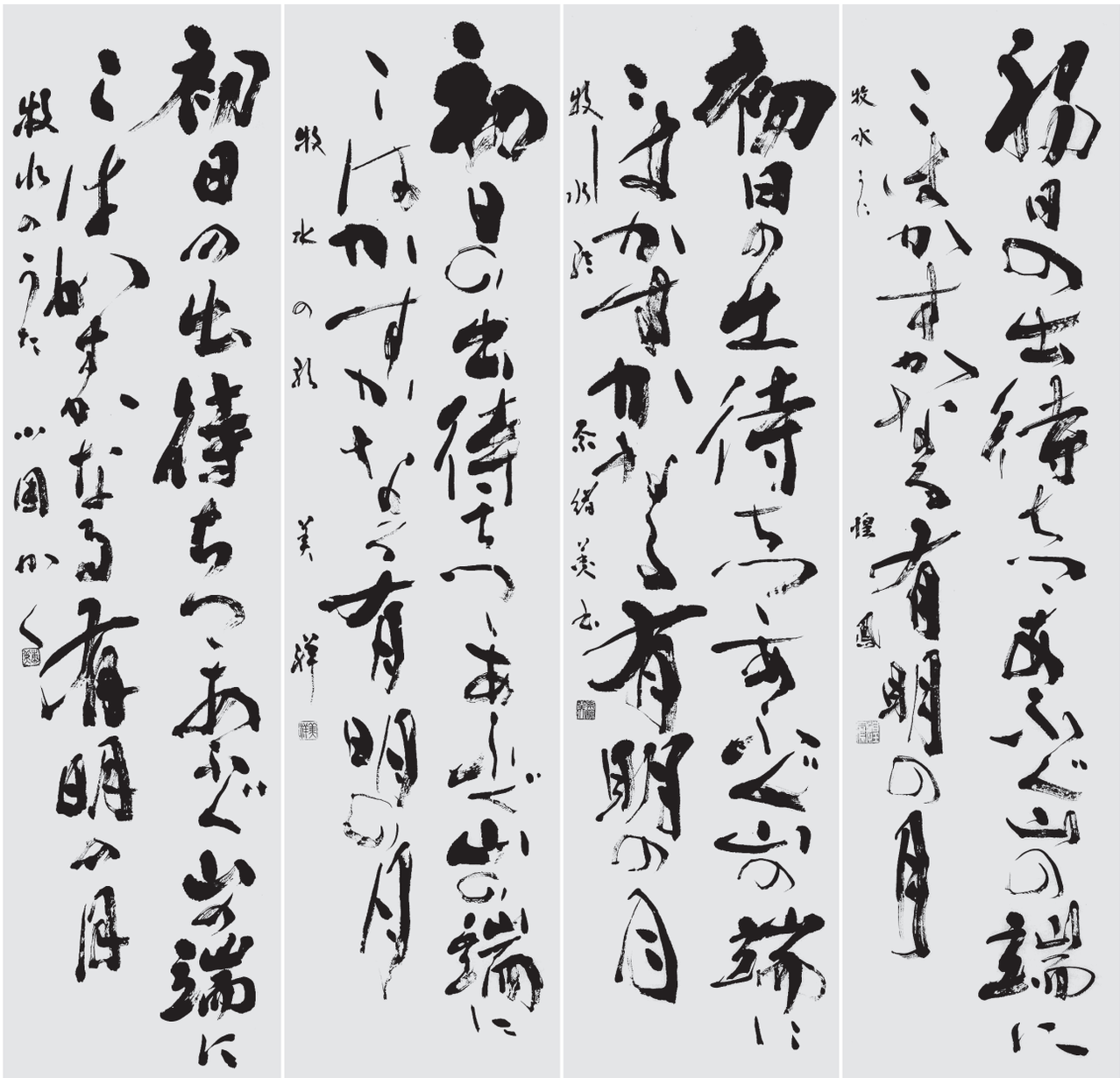
近代詩文書最優秀作品　（1月15日締切分）

足立翠泉先生選評



加藤惶鳳　推選
新春の寿ぎの歌の書に相応しい颯爽とした優れた作品です。切れ味の良い線質と快いリズムに潤渇の美しい自然な行の流れなど完成度の高い白眉の作。

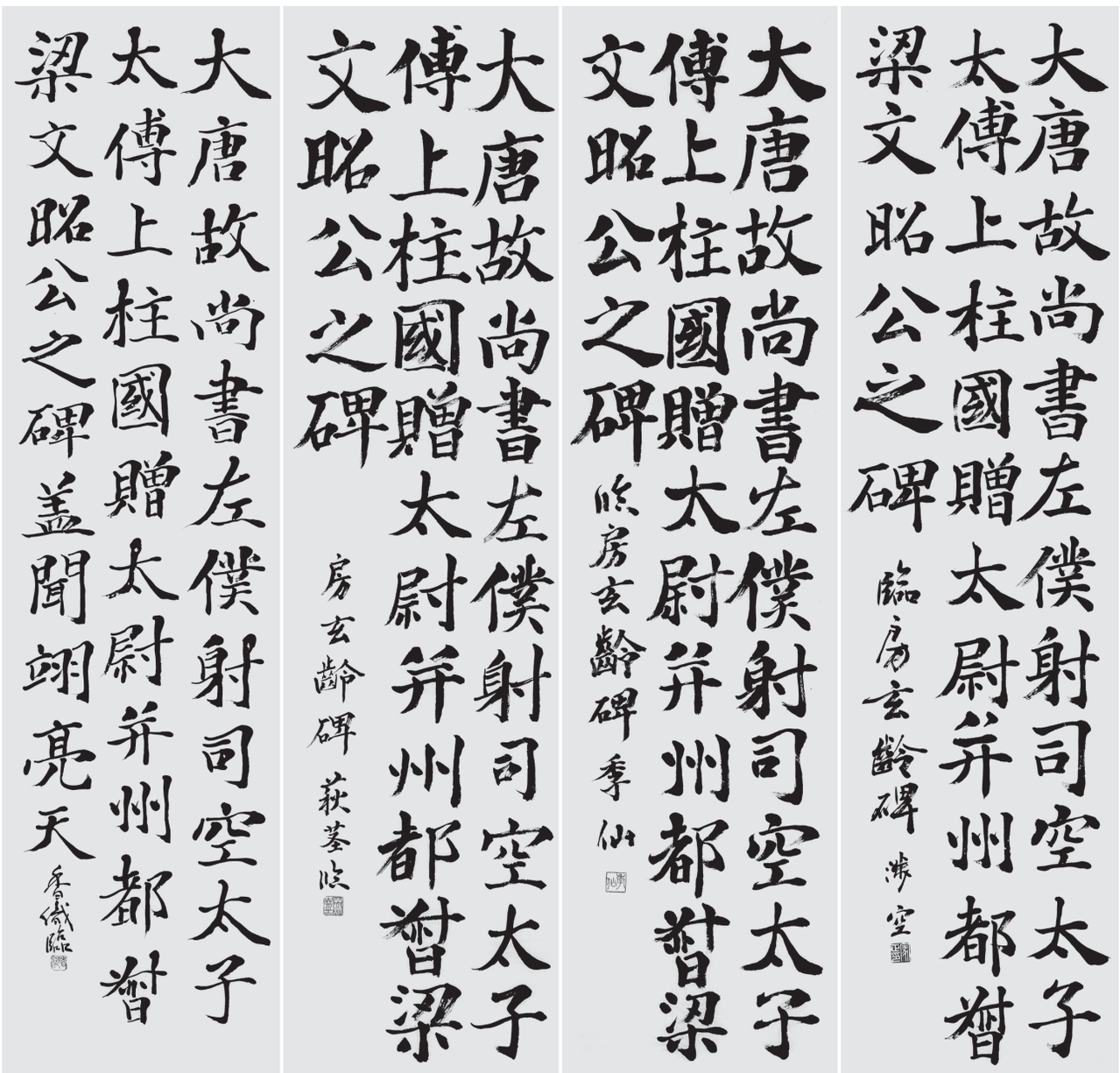
原田奈緒美　推選
ダイナミックな運筆に確固とした強い意志が伝わって来る。紙面を凌駕した運腕による悠揚とした線質が生き生きとして勢いがある快作。

富永美祥　推選
しっとりと且つ、どっしりとやさしい包容力を持った味わい深さに魅かれます。一文字ずつにある変化も自然体で、うたの「心」に繋がるようで素晴らしい。

藤原小圃　推選
牧水のうたを丁寧に受けとめて筆を運ばれたのでしょう。純粋なおもいが伝わってきます。独特なリズムと表現は個性的で立派です。好ましい作品。

漢字条幅最優秀作品　（1月15日締切分）

江幡太瓏先生選評



※落款で「東海鷗亭臨」「東海〇〇臨」「臨房玄齢碑〇〇臨」など様々。教室で提出される方は、きちんと先生に見てもらって下さい。（太瓏）

塚越渉空　推選　原帖を良く観て起筆、収筆、払い、はね、転折、文字の大きさ、配字、どれをとっても申し分のない傑作、快作である。最優秀のトップにふさわしい。

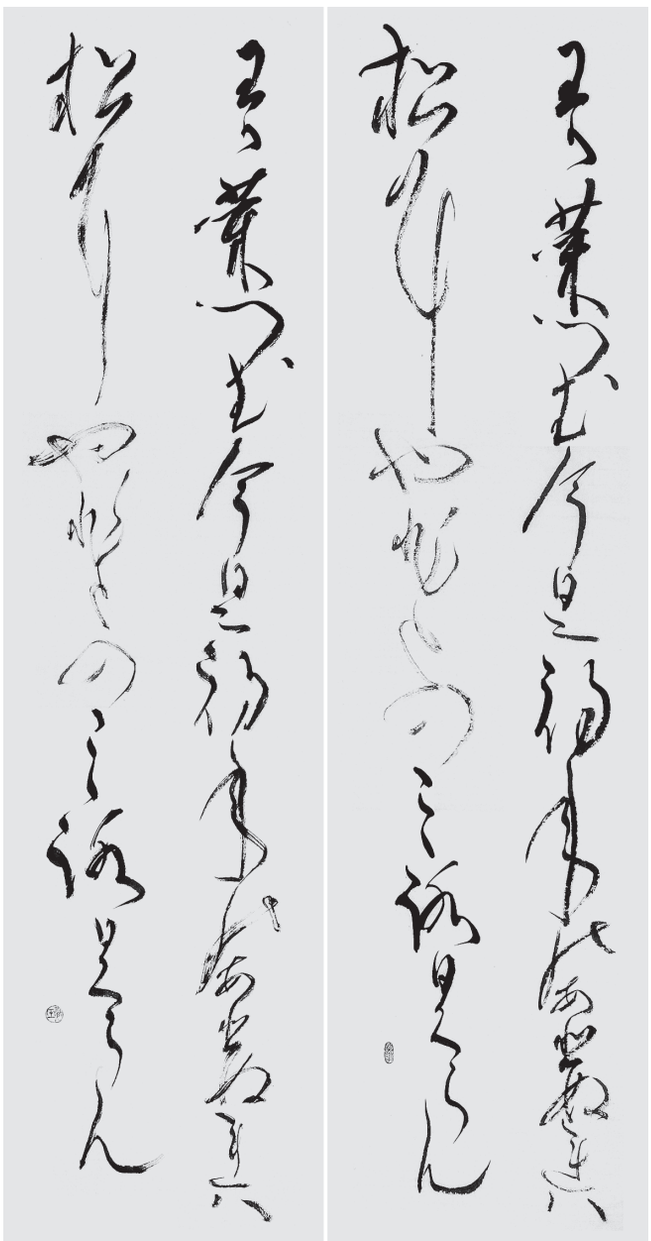
小柳季仙　推選　所々少し多墨で起筆があまくなったのは残念だが、手首、握り柔らかく伸びやかに書けていて、線が温かく、心地良い気分になります。

外山萩茎　推選　落筆高く伸びやかな線が魅力です。「左・司」などの画数の少ない字はもう少し太くしましょう。横画のうねりなどは参考作品を良く観ていると思います。

鯨井香織　推選　力強い作品はいつも拝見していますが、この大きさ、細さなのに弱くない。空を切る大きな動き、呼吸の深さ。だから線が強く凛としています。

かな条幅・かな半紙最優秀作品　（1月15日締切分）

久保田淳子先生選評



伊藤韶華　推選
浮沈の効いた練れた線が紙面を自在に走る感覚に圧倒される。景を大きく捉え、作者の心情がやや大き目の文字に表現されて居ると思った。

市来みち子　推選
潤渇に心をこめ、作品の効果に成功。半折作品としてのバランスが案配よく、しなやかな筆先が見える様で美しい音楽を聴く様な心地よさも感じられる。

吉澤真理先生選評

菅原実子　師範
少々の淡墨を使い気負わずに自分のものとして表現されました。古筆にも心くばりをした字態で、落ち着きのある美しい作品です。

遠藤玉翠　八段
小粒ながら、キリリと歯切れの良い筆運びが魅力的です。線質の変化も巧みで、少し墨量を多くすると更にメリハリがつく事でしょう。

居和城幸代　師範
よく習練された堂堂とした字態と運筆で、安定した作品です。潤渇の変化があり、墨色も美しく仕上がりました。

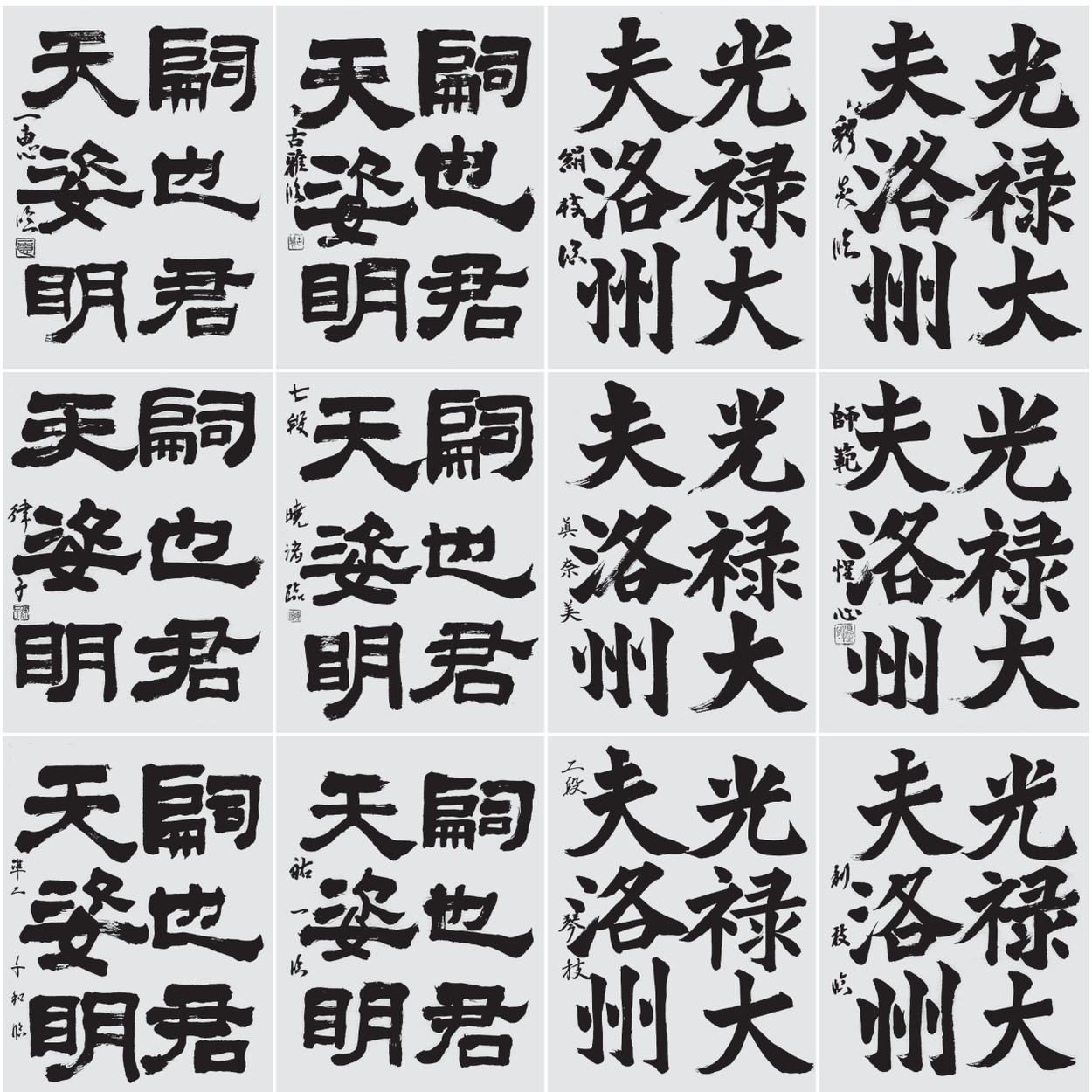
上原加代子　七段
潤渇の変化美しく立体感のある作品です。やや硬い表現の所がありますので、これにリズムが加わるとソフトで魅力ある作に。

井上恭花　準師
ゆったりと穏やかに流れ、字形のおおらかさで、全体をスケール大きな作としました。行間にも変化をつけるとよいでしょう。

井出翠風　六段
柔らかく、優しい文字に心が和みます。筆圧を加え紙にくい込むような鋭さも試みてください。

漢字半紙最優秀作品　（1月15日締切分）

若林久美子先生選評



中村彩炎　師範　素直な表現で始平公の鋭さ、太さ、結体をしっかりと捉え、形臨としては申し分のない秀作です。縦線のしなやかな撓みが美しい。

根岸絹枝　準六　凛と背筋の伸びた形体を取り、造像記の風格を表現している。波磔や縦画の起筆に迷いがなく、爽快な線が心地良い。

今村古雅　師範　重厚かつ大胆な線質で、緊張感の中にも淡々とした部分を取り入れて碑の持つ独特な疎密感を演出している。ガツン！と心に響く作。

黒木一恵　準四　原帖を少し感覚的に捉え、洒落た表現を試みた作品と言えましょうか。確実な筆致と細部まで行き届いた線が美しく違和感はない。

渡邉惺心　師範　強靭な線で一画ずつ丁寧に運筆され安定感は抜群です。露鋒中心の筆遣いで構成され鋭角の起筆や波磔が爽快です。

末續眞奈美　準三　強さと鋭さの中に潜む温もりや膨よかさを感じさせる温厚な線に好感を覚える。柔軟な考え方に将来性を感じます。

浅野暁渚　七段　運腕大きく悠然と構え、飄々とした表情が面白い。字形も研究され風格ある作品です。八分については更なる研究をしてみて下さい。

原　律子　準三　円やかで温厚な線がスムースに運ばれ、構築性豊かな力作。落筆が高く通貫性があるので重さを感じさせないのが素晴らしい。

佐久本利枝　準師　清澄な線で通貫性があり、一点の曇りもない臨書の姿勢に目を瞠ります。緩急の間合いも見事で多様な線質に豊かな彩があり素晴らしい。

中路琴枝　二段　細い直線で北魏の書の芯の強さを醸し出している。爽やかさと伸びやかさが際立ち、筆の真中心を通した線が見事です。

熊谷祐一　四段　着実に、正確に運筆され、重厚な線と相俟って品格ある作品となりました。余白も美しく落款まで気持ちが通貫している秀作。

千和　準二　一瞬、段を間違えた？と思う程の堂堂たる書き振りに感服しました。墨量豊かで線の変化に富み圧巻です。落款が弱々しいのが惜しいですね。